

ご存じですか？ 子どもの矯正

1期治療と2期治療って？

「子どもの矯正」にはどんなメリットが？

「子どもの矯正」には大きなメリットがあります。大人の骨格へと成長する前に不正咬合の軌道修正をすることで問題の拡大を防ぐことができるため、大人になってから治療を開始するよりも治療の負担が小さいのです。子どもの場合適切に対応し健全な成長を促すと、大きさも形も、よりバランスよく成長発育してくれます。つまり咬み合わせや歯並びの問題をその土台から根本的に改善することができるのです。こうした子どもならではの治療を1期治療といい、通常仕上げの治療としての2期治療と組み合わせ、2段階で行っています。

いつ頃からはじめるの？

1期治療は、不正咬合の問題が拡大し定着してしまう前、つまり思春期成長期の前に終えるのが理想。6～7歳から始めるのがベストでしょう。ちょうど前歯の永久歯が上下4本ずつ生え「乳歯の頃はきれいに並んでいたのに。あれ？」と歯並びが気になりはじめると、ご本人もご両親も納得して開始しやすい点でもこのころの開始はお勧めです。症例によっては幼児期から開始する場合もあります。早すぎる場合は待てばよいのですが、遅すぎてチャンスを逸すことのないよう、お子さんの歯並びが気になったら、早めに相談してください。

1期治療の後、経過観察をし、2期治療を行うかどうかの判断をします。

1期治療を終えた後は観察期間です。この間、顎の成長を見守ることはもちろん、乳歯から永久歯への交換がスムーズに行われるかどうかを見していくことも重要です。経過観察ののち、永久歯がすべて生えそろった時点で、2期治療が必要かどうかの再評価を行います。1期治療でうまく軌道に乗り2期治療なしで治療終了となるラッキーなケースもありますが、通常は、2期治療をするかどうか、するとすればいつはじめかご家族、本人と相談のうえ決定します。2期治療は急ぐ必要はなく大人になってから開始することも可能です。

